

公益社団法人日本地球惑星科学連合
2023年度(令和5年度)第6回理事会議事録

1. 開催日時 2024年3月26日(水) 9:00-12:00

2. 開催場所 Zoomによるオンライン会議

3. 出席者 理事数 20名
出席理事 16名 (定足数11名 会議成立)

4. 議長 理事 高橋 幸弘

5. 出席役員

理事 高橋 幸弘
理事 田近 英一
理事 サイモン・ウォリス
理事 小口 千明
理事 河宮 未知生
理事 堀 利栄
理事 阿部 なつ江
理事 大谷 栄治
理事 川幡 穂高
理事 倉本 圭
理事 成瀬 元
理事 西 弘嗣
理事 日比谷 紀之
理事 村山 泰啓
理事 道林 克禎
理事 和田 浩二
監事 鈴木 善和
監事 春山 成子
監事 松本 淳

6. オブザーバー

事務局長 末廣 潔
情報システム委員会委員長 興野 純
ダイバーシティ推進委員会委員長 坂野井 和代
地球人間圏科学セクション幹事 松多 信尚
固体地球科学セクション幹事 河上 哲生
地球生命科学セクションセクションプレジデント 掛川 武
地球生命科学セクションバイスプレジデント 黒柳 あずみ
地球生命科学セクションバイスプレジデント 遠藤 一佳
地球生命科学セクション幹事 岡崎 裕典

7. 審議事項

第 1 号議案 新入会員承認の件

・定款第 8 条 2 項の会員の入会の定めに従い、新規入会者の入会を審議した。これを承認した。

第 2 号議案 新規委員承認の件

・ジャーナル編集委員会の新規委員を審議した。これを承認した。

第 3 号議案 定款 15 条変更の件（理事数上限変更）

・定款 15 条「理事 15 名以上 20 名以内」を「理事 15 名以上 30 名以内」と変更することを審議した。これを定時社員総会に諮ることを承認した。

本改訂が社員総会で承認された後、新たな理事を選任するためには、再度社員総会にて審議、承認される必要がある。

第 4 号議案 定款 29 条変更の件（定時社員総会開催期日変更）

・定款 29 条「社員総会は、毎年 5 月に 1 回開催する。」を「社員総会は、毎事業年度終了後 3 か月以内に 1 回開催する。」と変更することを審議した。これを定時社員総会に諮ることを承認した。

第 5 号議案 2024 年度事業計画書および収支予算書承認の件

・2024 年度事業計画書および収支予算書を審議した。2024 年度事業計画書および収支予算書を承認した。

第 6 号議案 特定費用準備資金関連規則改定

・会員システム開発費用準備資金規則、ハイブリッド大会参加者多様化促進事業積立資金規則、ジャーナル出版を通じた国際情報発信の強化」準備資金規則および特定資産取り扱い規則の改訂、特定費用準備資金等取扱規則の新設を審議した。これを承認した。

第 7 号議案 共催の件（学術情報メディアセンターセミナー「計算・情報科学と地球科学で拓く新世界」）

・学術情報メディアセンターセミナー「計算・情報科学と地球科学で拓く新世界」への共催を審議した。これを承認した。

第 8 号議案 2024 年度フェロー承認の件

・審査委員会からの推薦に基づき、3 名の受賞候補者を審議した。JpGU フェローとして承認した。

第 9 号議案 日本地球惑星科学学術賞（三宅賞）受賞者の件

・審査委員会からの推薦に基づき、受賞候補者を審議した。審議の結果、推薦の通りに受賞者を承認した。

第 10 号議案 生物科学連合からの科研費に関する要望書の提案

・「科学研究費助成事業の全体額増加に関する要望書」への賛同について審議した。文面に対して意見を募る。また、生物科学連合会長に詳細を確認したうえで、賛同の可否について判断することとした。

第 11 号議案 AGU とのジョイントミーティング日程について

・2026年にAGUとのジョイントミーティングを開催することを審議した。これを承認した。

・理念、宣伝、事務局のマンパワーの問題などについて指摘があった。タスクフォースを設置し、これらの問題を含めて検討していく。

第 12 号議案 その他

・会長・筆頭副会長選挙のスケジュールについて

選挙管理委員会は、代議員選挙・セクションプレジデント選挙の選挙管理委員会が対応する。

4月9日に書類受付開始、4月23日書類受付締切、26日仮候補者一覧作成、投票は30日定時社員総会後の理事会開催中に行う。

8.報告事項

1. 高橋 幸弘代表理事 職務報告

- ・沖大幹理事がストックホルム水大賞を受賞した旨報告があった。
- ・TCGUとの会合を行った旨報告があった。

2. 田近 英一理事（広報普及担当）職務報告

- ・広報普及関連の報告があった。中高生向け講演会を開催した。
- ・JGL2月号を発行した。5月号を準備中である。連休前に暫定版の発行、大会時に正式版の発行を予定している。

3. ウォリス理事 職務報告

- ・TCGUとの会合について報告があった。MOU改訂を準備している。
- ・AGUとのジョイントミーティングについて既に協議をしているが、開催年の方針が決まったため引き続き進める。

4. 小口 千明理事 職務報告

- ・ダイバーシティ推進関連の活動について報告があった。3月17日にダイバーシティ公開講演会「ダイバーシティ推進の現状理解へむけてーEU科学分野におけるダイバーシティ推進と Unconscious& Implicit Bias」を開催した。オンヤクの試行を行った。
- ・緊急セッションの準備を進めている。

5. 河宮 未知生理事 職務報告

- ・スポンサーの制度の進捗について報告があった。20社程度の申し込みがあった。

6. 堀 利栄理事 職務報告

- ・ダイバーシティ公開講演会について報告があった。
- ・2月29日役員候補者推薦委員会 DEI/EDI 研修について報告があった。

7. 道林 克禎理事（総務担当）職務報告

- ・前回理事会以降の協賛・後援イベントの報告があった。
- ・能登半島地震義援金募集について報告があった。大会時、緊急セッション会場などでも募集する予定である。
- ・事務局職員の待遇改善を進めている旨報告があった。

8. 成瀬 元理事（財務担当）職務報告

- ・財務関連の活動報告があった。
- ・将来的な課題として、「会長・副会長が AGU, EGU, AOGS の大会あるいは事務的会合に出席する場合には、旅費の支出などを検討する」「大会運営委員会の関係者が AGU, EGU, AOGS の大会に参加し、視察も含めて JpGU 大会のあるべき姿などを検討するのみ望ましく、その旅費の支出などを検討する」などをお願いしたいと、川幡理事から提案があった。

9. 和田 浩二理事（大会運営担当）職務報告

○大会準備状況の報告があった。

- ・現在参加登録受付中である。発表者は 4 月 18 日が締切となっている。発表のなき参加者も早めに参加登録していただけるよう呼びかけがあった。
- ・緊急セッション準備は順調に進めている。
- ・投稿総数は 4412 件、投稿者は 3900 名、となっている。昨年と比べて 100 件程度増加している。ポスター：口頭比率はほぼ同数、国地域別投稿者数は台湾が多い。
- ・マージや追加コマなどによる増減の結果、コマ割りはほとんど空きのない状態で完成した。
- ・緊急セッションはパブリックセッションを 5/25（土）PM に、ユニオンセッション J を 5/28 火 PM1、およびユニオンセッション E を 5/28PM2 に開催する。ユニオンセッションは一般投稿を受け付ける。4 月 2～11 日に投稿受付 23 日にプログラムを公開する。
- ・ハイブリッド方式は基本的に 2023 年大会と同じである。
- ・オンラインのプラットフォームは Confit を用いる。
- ・口頭セッションでは、発表者自身の持ち込み PC を用いる。持ち込めない場合は USB メモリを用いる。Zoom に接続して画面共有するため、Confit の事前登録およびログインは必須となる。原則、有線 LAN ケーブルでネットワーク接続する。演台を設置する。
- ・ポスター発表では、e-poster は必須。現地発表で掲示するものと同じで構わない。口頭セッション内の指定された時間にフラッシュトークを実施する。ポスターのみのセッションのフラッシュトークは、原則 PM3 冒頭 15 分展示場ホール特設会場で行う。
- ・発表者/コンビーナ/座長間の連絡用メーリングリストを後程作成する。
- ・会場レイアウトの紹介があった。展示場は今回ホール 6 を用いる。展示ホール奥には特設会場や特設ステージおよびステージエリアを設ける。
- ・現在出展者受付中である。61 ブースのうち 41 ブースが申し込み済で、うち 22 ブースがスポンサーによる出展である。ほか、スポンサー特典として、入り口にデジタルサイネージを設置する。
- ・学生優秀発表賞はポスターのみ審査対象となる。
- ・高校生ポスター発表のエントリーを受付中である。
- ・ポケット Wi-fi 貸し出しサービスを行う。事前予約制である。
- ・会合利用の提供を予定している。決まり次第ウェブで案内する。会合のみの参加を可能とする予定である。その場合は会合主催者が会議場入り口にて誘導する。
- ・同伴者の入場について、未就学児は登録不要、小学生は大会本部にて専用参加証を配布、中学生以上は大会参加登録、と決定した。
- ・大会期間中の企画について紹介と報告があった。5 月 29 日の 17：30 から表彰式、18：45 から懇親会を行う。巡検は 6 コースがあり、一部以外は申し込みを開始している。他、人工知能学会共催コンペティション、ランチタイムスペシャルレクチャー/三宅賞受賞者講演、NASA-JAXA ハイパーウォール講演会、フットサル GeoFut2024、宇宙惑星セクショ

ン企画、大気水圏セクション企画、保育ルーム、キャリアパスイベント、キャリア相談会、**International Mixer Luncheon**、伊与原新先生サイン会、スーパーレッスン、トークスタジオの紹介があった。

- ・今後のスケジュールについて報告があった。

10. 沖 大幹理事（グローバル戦略担当）職務報告

- ・代理でウォリス理事よりグローバル戦略委員会会議開催報告があった。

11. ダイバーシティ推進委員会活動報告（阿部担当理事）

- ・ダイバーシティ推進関連について報告があった。

12. 教育検討委員会活動報告（阿部担当理事）

- ・教育関連について報告があった。教員講習の担当に対して報酬を支払うことを検討している。収益のある事業でもあり、継続性を高めるために報酬を支払えるように委員会として意見を集約する方針である。

13. 環境災害対応委員会報告（沖担当理事）

- ・宮地委員長より報告があった。通常セッションおよび緊急セッションを準備を進めている。

14. 情報システム委員会活動報告（村山担当理事）

- ・情報システム関連の報告があった。
- ・会員管理サーバーのアップデートを行った。
- ・ORCIDについて、従来の使用料でなく会費として計上した。3月29日に日本コンソーシアムミーティングに参加予定である。
- ・RDMタスクフォースの活動報告があった。6機関の機関データリポジトリの利用状況を調査した。また、他にも情報を収集している。今後、ウェブサイトなどで紹介することを検討している。

15. ジャーナル関連活動報告（倉本担当理事）

- ・ジャーナル編集関連報告があった。投稿数は伸びている。一方、リジェクト率が上がっている。
- ・Springerと正常に契約を行った。トラブルの情報があるので、これからも慎重に対応する必要があるという情報があった。
- ・ジャーナル関連のワーキンググループを設置することを検討している。
- ・科研費は採択されなかったので対応を検討する。

16. 顕彰委員会活動報告（川幡担当理事）

- ・顕彰関連の報告があった。

以上

議長は以上をもって、すべての議事を終了した旨を述べ、閉会を宣した。（午後12時00分）

以上の議事の要領及び結果を明確にするため、本議事録を作成し、出席理事は次に記名・押印する。（捺印欄配布時省略）

2024年3月26日

出席理事	高橋	幸弘	印
出席理事	田近	英一	印
出席理事	サイモン・ウォリス		印
出席理事	小口	千明	印
出席理事	河宮	未知生	印
出席理事	堀	利栄	印
出席理事	阿部	なつ江	印
出席理事	大谷	栄治	印
出席理事	川幡	穂高	印
出席理事	倉本	圭	印
出席理事	成瀬	元	印
出席理事	西	弘嗣	印
出席理事	日比谷	紀之	印
出席理事	道林	克禎	印
出席理事	村山	泰啓	印
出席理事	和田	浩二	印